

スキマタイムズ

もっとお互いを理解するための場や時間を

日本自立生活センター自立支援事業所 2015年1月29日発行 第46号

居場所づくり勉強会 第34弾！ ～JCILの原点を探る バークレー・サクラメント編～

今、アメリカの障害者運動や福祉はどうなっているのか。JCILのルーツをさぐると同時に現在のアメリカの状況を視察するために、昨年11月30日～12月7日に、JCILの下林、事業所の渡邊、古川、ピープルファースト京都の上田、辻本の5人がアメリカのロサンゼルス、バークレー、サクラメントの3都市を訪れました。

今回の勉強会は前回（1月23日）の続きです。前編ではアメリカ研修の目的から始まり、各センターの紹介、バークレーCILについての導入部分まで報告しました。

今回は、旅の目玉であるバークレーCILの詳しい内容と、サクラメントでのピープルファーストの仲間たちとの出会いを中心に報告します。

ぜひご参加、お待ちしております！！

日時：2015年2月20日（金） 13：30-16：00

場所：京都市地域・多文化交流ネットワークセンター

参加費：無料

報告者：下林慶史・渡邊琢・古川大輔・上田哲久・辻本美貴



日本自立生活センター自立支援事業所 編集担当：横川

ご意見・企画のアイデアなど大歓迎！バックナンバーはホームページ↓で読むことができます。

TEL:075-682-7950 E-mail:jcil-kyoto@jcil.jp URL:<http://www.jcil.jp/zigyosho/index.html>

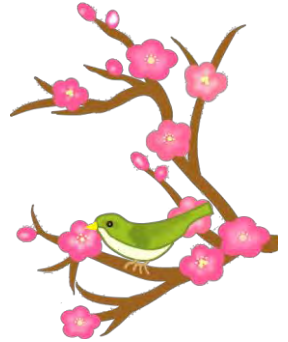
職員紹介 14

1月も職員が1名増えました。
さっそくご紹介したいと思います。
どうぞよろしくお願いします。

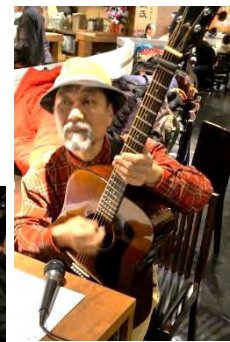
職員自己紹介

- ① なまえ ② JCIL との関わりはいつから？
③ きっかけは？ ④ どんな仕事をしていますか？
⑤ A: 大切にしていること B: これからしたいこと

- ① 吉武 亜希子 (よしたけ あきこ)
② 2011年 夏～
③ 友人が介助の仕事をしていて…
④ 介助
⑤ A: 健康でいること。できれば心も。
B: 子供を育てたり 自分を育てたり(??)



みんなの 忘年会



2014. 12. 17

総合支援法に変わったよ！ えっ、ほんま？ Part40

自立生活満喫中のリツコさん
でもあんまり難しい話は苦手…



お正月すぎたと思ったら、あれよという間に2月やな〜。寒いけど、ぬくい日もときどきあるね。

2月もあつという間にすぎるんだろうなあ。
ほんで、今日の話は？

カイゴ・ハウシュウ・タンカ…
なんとなくわかるけど、ちゃんとは知らんなあ。

ふんふん。うちらが介助を頼むと、その分だけ、
事業所にお金が払われるわけね。

そっか。うちらが介助を利用した分のお金で
いろんな事業をしたり、ヘルパーにも給料が
いくんやね。

ふーん。改定ね…
どうなったん？

現状維持なわけね。よかったんかな？

そうなんや。きついなあ！

ただでさえ、ヘルパーさん、なかなか安定し
ないのになあ。うちらにとっても大きな問題
やね。

そうなんやねー。きっちり、国のお金
の使い方とかも考えていかないとね。

障害者制度改革について

勉強中のタクオさん

小難しいこともやさしく(?) 解説



うん。梅が开花したってニュースもあったか
ら、早春の気配も感じられるね。

今日は、来年度の介護報酬単価の話をしようかな。

えっと、ヘルパーのサービス提供に対して、国から事業所
におけるお金の基準額のことだよ。ヘルパー派遣事業所は、
国から支払われるこのお金「介護報酬」で運営している。
介助にいった分だけ、国からお金がおりにくる仕組み。

うん。事業所に介護報酬が支払われて、それから、事業所
はそのお金でヘルパーの給料を支払ったり、いろんな事業
運営費にまわすわけ。

そうそう。それで、そのお金の基準額が、今年の4月から改
定されるんだ。だいたい、3年に一度、改定が行われる。

いちおう。ゼロ改定。つまり今度の4月は改定しないと
いうことになった。

まあ、助かったというべきか。国は、とにかく今、社会保
障費を削りたがっている。高齢者の介護保険は、今回の改
定で2%以上下がったんだ。

介護報酬単価が下がると、経営できなくて、つぶれる事業
所も出るかもしれない。ヘルパーも給料を下げられて、や
めていくかもしれない。ほんとやばいよ。

まあ今回はゼロ改定ですんだけど。やっぱりこれから介助、
介護の大事さ、大切さを伝えていけるようにしないとね。
障害者の地域生活のためにも大事だし、介助者の生活の安
定のためにも大事。

烏丸線ホーム柵運用開始!

気づいていましたか??

2014年12月20日より、地下鉄烏丸線烏丸御池駅にてホーム柵の運用が始まりました!

視覚障害の人や車いすの人がホームから転落する事故がたびたび起こっていたため、2008年よりJCILや「すべての人に安全な駅ホーム設置を進める会」が中心となってホーム柵の設置を求めてきました。署名を集めて京都市に届け、市議会議員にも働きかけ、ようやくその必要性が認められたのです。たくさんの方が署名にご協力してくださいました。本当にありがとうございました。

地下鉄のホームは狭いので、ホーム柵ができると障害者だけでなく高齢者や子ども連れの人にも安心です。これから、京都駅と四条駅にも設置されることが決まっています。利用する人の声によって駅が、街がつくられていくのです。

烏丸御池駅を使うときには、このような運動によって柵が設置されたことを思い出してみてください☆

2014年12月21日(日) 京都新聞朝刊→

地下鉄のホーム柵設置を祝う「すべての人に安全な駅ホーム設置を進める会」の会員(20日午後2時5分、京都市中京区の市営地下鉄烏丸線・烏丸御池駅)―撮影・三木千絵



ホーム柵普及 一步前進

京都市営地下鉄烏丸線の烏丸御池駅(中京区)で可動式ホーム柵の運用が始まったことに合わせ、20日、障害者らでつくる「すべての人に安全な駅ホーム設置を進める会」が同駅で歓迎セレモニーを開いた。同会は

2008年からホーム柵設置を要望してきただけに、集まった約10人の会員らは感慨深げに柵を眺めていた。

セレモニーでは、会員らがホーム柵設置を祝う横断幕を掲げ、会長の宮川泰三さん(57)が「全ての駅に設置されるまで、頑張ってください」とあいさつ。また、会員らも「駅へのエレベーター設置やノンステップバスなどが普及し、ようやくホーム柵ができた」と喜んで

同会は烏丸線全駅へのホーム柵設置を求め、12年には約5千筆の署名を市交通局に提出。その後も約3千筆が集まっているという。市は来年度、四条駅と京都駅にもホーム柵を設置するが、全駅への設置は未定。(小川卓宏)



こころとからだをすっきり! ヨガタイム

ヨガで自分の身体と向き合ってみませんか? ヨガの目的はきれいなポーズをとることではありません。その日の身体がどんなふうに動くか動かないか、意識を自分に向ける時間です。呼吸が深くなり、肩こり、腰痛、疲労感もやわらぎます。ぜひ参加してみてください♪ 講師は石田久美さんです。

★ヨガ: 全身をうごかすヨガ

日時: 2月13日(金) 18:15-19:30 (OPEN 18:00)

場所: 油小路事務所2F

持ち物: 動きやすい服装・タオル・飲み物

参加費: 無料

* ヨガタイムはJCIL自立支援事業所の利用者と家族・介助者を対象にしています。

